

いそがばまわれの

語源

は

草津!?



歌川広重画「東海道五十三次之内 草津」(草津市蔵)

この有名なことわざの舞台は、なんと草津市。旅人たちが、瀬田に進むか、矢橋の港に向かうかを、分岐点のお茶屋で一服しながら考える様子が、浮世絵に描かれています。絵の中の「矢倉道標」は、今も同じ場所(矢倉二)に残されています。では、どのようにして、このことわざが生まれたのでしょうか? 「いそがばまわれ」の語源については、13ページをご覧ください。



特集

「バリア」のないまちへ
合理的配慮の社会づくり